

基本理念・目標・視点について（第 2・3 回推進計画策定協議会より）

● 区民が主体の推進計画（基本目標 1）

項目	キーワード
区民による、区民のための、区民の推進計画	区民による推進計画
	区民による、区民のための推進計画
区民が主役の計画	区民のために何かをする
	区民に焦点をあてる
主体的な学び	主体的な学び

● アカデミー推進計画を通じたネットワーク形成（基本目標 2）

項目	キーワード
ネットワーク形成	地域参画のためのネットワークづくり

● 「いつでも、どこでも、誰でも」望むときに活動できるための取り組み（基本目標 3）

項目	キーワード
「いつでも、どこでも、誰でも」学びたいときに、 学ぶことができる	誰もが学び続けられる環境の整備
	いつでも学ぶことができる環境の整備
	区内のあらゆる場での学び
	「アカデミー」を「学びの場所が広がる」ととらえると良い

● 連携による推進計画の活性化（基本目標 3）

項目	キーワード
様々な社会資源との連携	区内の大学との連携
	他の地域との連携
関係各機関との連携	区内の大学との連携
	区内事業所との連携
区内の大学との連携	区内の大学との連携

● 区の特徴を活かす（基本目標 3）

項目	キーワード
安全・安心なまち	安全・安心なまち
魅力ある観光資源の活用・PR	観光資源活用方法の検討
文化的資源の活用	区の文化資源を深く知る
	観光資源の検討
歴史的資源の活用	歴史的・文化的特徴を活かす
	歴史的背景からまちを捉える

項目	キーワード
区の風景を活用	景色を利用した区の PR
	財産としての区の風景
文化財の保護	無形文化財の保護
	無形文化財を通じた観光
社会資源に恵まれた環境	文化的資源に恵まれた環境
	区内の施設配置状況の良さ
社会資源の特色づくり	区内の資源それぞれに特色を持たせる
魅力の再発見	区の魅力の再発見
歴史と文化の再認識	日本の歴史と文化を知ることが重要
	子どもたちが海外で区の歴史や文化を伝えられることが重要
文京区の特長	文化・教育にとって恵まれた環境
文京区に住んでいるからこそできることの創出	文京区に住んでいるからこそできることの創出

● 生涯を通じた学び（基本的視点1）

項目	キーワード
生涯を通じた学び	生涯を通じた幅広い学び
	生涯を通じた学びの場

● 機会創出（基本的視点1）

項目	キーワード
参加するための工夫	参加する方法の周知
	参加しやすい工夫
機会創出	きっかけづくり
歴史に触れる機会の創出	区の歴史に触れる工夫
書道に親しむ場の創出	子どもたちが書道に親しむ場の創出

● 時間の有効活用（基本的視点1）

項目	キーワード
時間の有効活用	時間の有効活用

● 活動内容の充実と進め方の工夫の必要性（基本的視点1）

項目	キーワード
活動推進のための取り組みの必要性	活動を推進する母体の必要性
	積極的に活動を盛り上げる
	ダイナミックな動きの必要性
活動内容と進め方の工夫の必要性	ユニークな講座内容
	講座の進め方の工夫が必要

項目	キーワード
講座の内容や運営方法の検討	興味深い講座内容の用意
	受講者間の交流
	区民主催の講座の開催
	講座の運営方法の検討
	講座受講における課題
各種講座の内容と運営方法の充実	講座時間の工夫が必要
	交流の広がり
	運営主体等との連携
	魅力的な講座内容の検討

● 活動場所や成果を披露する場所の確保 (基本的視点2)

項目	キーワード
場所の確保	活動成果を活かす場の不足
	施設の利用調整
	学ぶ拠点の不足
	活動場所の不足
	場所の確保の必要性の高さ
	発表の場の確保のための工夫
	活動を活発にするための施設間ネットワークの構築
	自由に利用できる場の不足
	自然が少ない
活動成果披露の場	活躍の場があること
	活動状況発表の機会の拡大
活動の場の用意	講座会場数の充実が必要
活動を行う・継続する機会と場の創出	活動を継続するための場づくりが必要
	活動を行うための拠点が必要
	総合型地域スポーツクラブの重要性向上
	スポーツ施設の充実と指導者の育成
教育施設の一般開放	教育施設の一般開放
	教育施設の一般開放における課題点

● 世代間交流と幅広い世代の活動を支える (基本目標2、基本的視点3)

項目	キーワード
幅広い世代の活動を促進・支援する	子どもたちの参加促進
	様々な世代が参加できることが重要
	定年後の自己実現
様々な世代の学びを支援する	区内における若い世代の増加

項目	キーワード
	中高年齢の積極的な活動
	若い世代を対象とした企画の必要性
子どもたちに焦点をあてた取り組み	子どもたちのための取り組みが必要
	子どもたちに身近な取り組みの実施
様々な世代との交流	活動を通じた様々な世代との交流
	「交流」という視点を踏まえる
仲間づくり	活動を通じた仲間づくり
	仲間とともに学ぶ楽しみ

● 経験や知識を有する人材の活用 (基本的視点3)

項目	キーワード
人材活用	人材の活用
	地域の人材の活用
	学んだことを人に伝える
学習成果の活用	個人の活動状況の把握
	経験者が活動を地域に伝える
活動支援ネットワーク形成	活動を支える人材のネットワーク形成

● 情報提供方法の工夫 (基本的視点4)

項目	キーワード
周知方法の工夫の必要性	周知方法の工夫が必要
周知・PR方法の工夫	イベントの評判からのPR
	文京区をPRする
周知活動の充実	周知活動の充実
区の強みを活かしたPR	文教地区としての強みを活かしたPRを行う
観光情報提供方法の充実	周知方法・PR方法の工夫が必要
	区内観光案内の充実

● 「育成」の視点 (基本的視点5)

項目	キーワード
活動を行う・継続する機会と場の創出	スポーツ施設の充実と指導者の育成
	「育成」の視点を踏まえる

● 活動を支える仕組みの整備 (全体)

項目	キーワード
活動支援	ボランティア活動の支援が必要
	活動サポーターが必要
幅広く学習を支援する	幅広い世代の生涯学習活動推進

項目	キーワード
	区民の区外での学習を支援する
共に向上しあう	活動する側と支える側が共に向上する

● 計画策定過程における視点 (全体)

項目	キーワード
最先端の計画づくり	国の施策の動向把握
生涯学習推進	区民参加の生涯学習の推進
	生涯学習を通じたまちづくり
	活動参加者の地域への還元への仕組みが必要
文化交流の推進	国際交流における文化交流の推進
健康づくり	スポーツを通じた健康づくり
国際理解の推進	学校における国際理解教育を地域の中でも広める
	国際理解教育通じた次代のまちづくり
	国際理解を通じた新たな世界の発見
積極的な国際交流施策の推進	国際交流の積極的な推進
	姉妹都市との今後の関係の検討
	外国人との交流の仕方
	区内における国際交流と対外的な国際交流
	留学生を中心とした国際化の推進
	国際教育に力を入れたまちづくり
区民の学びによる観光振興	観光に対する区民の学びの促進
観光振興へ向けた取り組み	観光振興のための地域の活性化
	積極的な観光振興施策が必要
	社会的効果と経済的効果をふまえた観光振興
	観光に対する地域の対応力
来訪者をきっかけとした観光振興の取り組み	生活文化再認識と魅せ方の工夫による観光振興
	来訪者を通じた学びが重要
	来訪者をきっかけに文京区を見つめ直す
計画策定の視点	子どもたちの育ちの視点をふまえる
	国際化をふまえた施策策定
	分かりやすく魅力的なキャッチフレーズを検討する
	経済活性化、消費活性化からの観光振興
	楽しみを感じられる場の検討
	施設管理レベルの公表
	計画における観光の位置づけを検討すべき
	観光に関する行政計画が不十分
	他の地域と比較すると地味である

項目	キーワード
	特別支援学校卒業生の受入状況の把握が必要
	基本計画に基づいて策定する
	事業の整理を行う
	競技力向上の点をどのように捉えるのか
	他分野と連携して内容の向上を図る
	各分野の連携
	実現可能な方向性と表現の検討
	対象となる事柄の選定
	観光をどのように計画に盛り込むか
	計画策定方法について
	理念を活かすための事業内容検討
	他分野との連携
	「文化」という文言を入れる
	学習ステージを見据えた計画
	「よき区民」になるための学び
	住みよいまちをつくる
	余暇の充実を図る
	文京区に来ている人々にとっても魅力的な活動
	目標に対し、具体的にどのように展開していくかが重要
	計画に入れる事業とそうでない事業の仕分けが必要
	「区民がつくる区民のための区民の大学がどうあるべきか」という視点が大切
	委員の考えをぶつけ合いながら計画を策定していく
	限られた予算の中でより良いものができるようにしていく